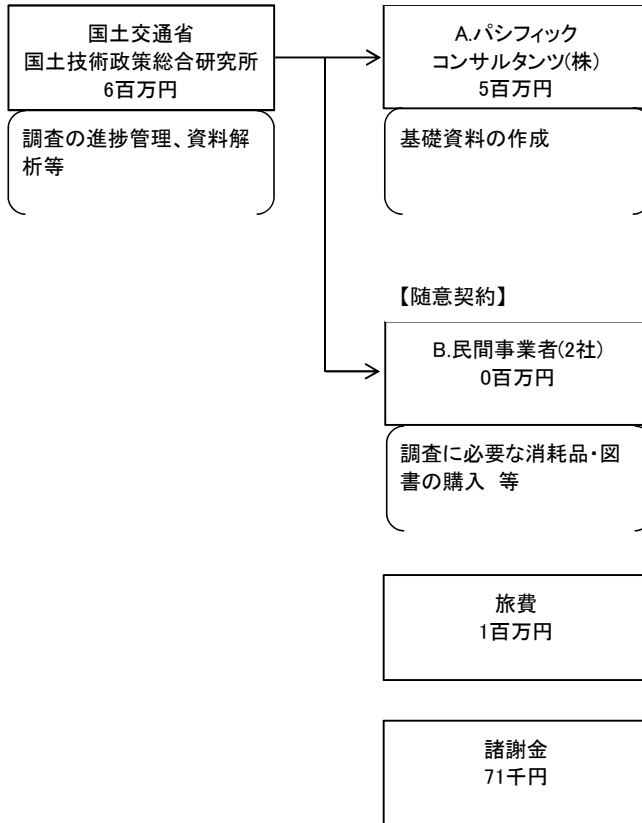


行政事業レビューシート (国土交通省)

予算事業名	国際交通基盤の統合的リスクマネジメントに関する研究		事業開始年度	平成18年度		作成責任者
担当部局庁	国土技術政策総合研究所(横須賀庁舎)		担当課室	空港新技術研究官、港湾システム研究室		空港新技術研究官 中島 由貴
会計区分	一般会計		上位政策	技術研究開発を推進する		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	大規模地震等の危機発生時において、国際交通サービスを維持するため、被災等で機能低下した国際交通基盤以外の施設で補完代替的な機能の提供が円滑になされるためのマネジメント手法を構築し、非常時における国際交通サービス維持のための具体的な手順についてとりまとめることを目的とする。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	大規模地震等の危機発生時において、国際交通サービスを維持するため、被災等で機能低下した国際交通基盤以外の施設で補完代替的な機能の提供が円滑になされるためのマネジメント手法を構築し、非常時における国際交通サービス維持のための具体的な手順についてとりまとめるための調査研究を実施した。					
実施状況	平成19年度:簡易プロポーザルに準じた方式による調査業務1件 (危機発生後における国際交通基盤の役割・機能についての検討・評価 他) 平成20年度:簡易プロポーザルに準じた方式による調査業務1件 (危機発生後における国際交通ネットワーク確保方策の検討・評価 他) 平成21年度:簡易プロポーザルに準じた方式による調査業務1件 (リスクマネジメント手法の提案)					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	9	7	6	-	-
	執行額	9	7	6		
	執行率	100.0%	100.0%	100.0%		
	総事業費(執行ベース)	-	-	-		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	事業実施現場の状況把握については、適宜打合せ等を行うことにより、把握している。				
	見直しの余地	本事業は、平成21年度にリスクマネジメント指針を作成したことにより、事業の当初の目的を概ね達成したものと認められることから、今後は得られた成果から、合理的なリスクマネジメント手法を提案する取組を進めることとし、本事業については廃止することとする。				
予算監視の効率化	【事業廃止】 事業目的の達成状況から、改めて予算措置を講ずる必要性はないと認められるため廃止事業とする。					
補記	【予算科目】					
	030 技術研究開発推進費					
	01-13 社会資本整備関連技術の試験研究等に必要経費					
	021 国際交通基盤の統合的リスクマネジメントに関する研究					
			(21年度予算額)	(21年度決算見込み額)		
	13054-2129-06	諸謝金	71千円	71千円		
	13054-2122-08	試験研究旅費	312千円	312千円		
13054-2122-08	外国旅費	414千円	414千円			
13054-2122-08	委員等旅費	41千円	41千円			
13054-2123-09	試験研究費	4,941千円	4,941千円			
			※少額のため、千円単位			

【簡易プロポーザルに準じた方式・請負】



※少額のため、千円単位

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。使途と費目
 の双方で実情が分かるよう
 に記載)

A.パシフィックコンサルタンツ(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	直接経費・諸経費・技術経費	3			
人件費	調査職員	2			
計		5	計		0
C.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
H.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

【別紙】

B.民間事業者(2社) 373千円		
No.	支出先	金額 (千円)
1	(株)マルタン	260
2	丸善(株)	113
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		